

財団法人 起業家支援財団 設立趣意書

21世紀に入った現在、工業社会から情報化社会を迎え、グローバルな産業競争力が問われているなかで、起業・創業者が既存の市場あるいは新しい成長性の高い新市場に意欲的に参入する一方、創造力に富む起業家の積極性はその市場を一段と成長させ、創業活動を通じた中小企業の積極的活動が技術革新を促しております。こうした中、経済社会の既成の制度や個人の意識は変革を強く求められており、地域の経済社会においても、知識社会、文化社会に向かってさらなる変革のさなかにあります。

この経済社会の変革のなかにあつて特に重要なことは、資本主義市場経済のダイナミズムである「起業家によるイノベーション」によって既存企業の変革・発展を図ることであり、経済発展の原動力となる事業創造を促すために独立・支援の環境を整えることにあります。

とりわけ、創業支援・起業家支援は、「次の社会を築きあげていくためのイノベーション」であり、既存の経済社会を個人の創造性を生かせる多様な社会に改め、より多くの人たちが事業創造のチャンスに挑戦できる社会環境づくりに向けた喫緊の課題と言えます。そのためには、21世紀の社会を担う人材、つまり起業家を育む社会の仕組みが必要です。

近年の起業をとりまく経済社会の環境は、店頭市場や金融制度などの経済面からの支援や会社法の施行などによる経済社会のインフラ整備が進み、新規事業や起業家が出現しやすい社会的風土づくりがなされてきました。現代における技術革新や情報化の進展、大学等技術移転促進法の施行や各種規制の緩和、これに伴う労働市場の変革により人材の流動性が高まったことは、国際化の動きの中での創業活動にとってもプラス面を生じています。つまり「起業家経済から起業家社会」へと時代が移行している状況においては、抜本的に広く対応していくことが求められます。

「起業家社会」へと移行していく際の経済社会のイノベーターの基となる「起業家精神」とは、己に厳しく、常に変革を意識し、創造性を心がけ、自己責任のもとに行動する、という考え方があります。こうした起業家精神を持つ有為な人材が次々と数多く社会に巣立つためには、「広く社会の支持を得て事業活動を行っている企業経営者が、次世代を担う若手起業家を指導、支援することが肝要であり重要なこと」と、考えます。

本財団がここに、経済の担い手としての次世代に向け創業をめざす者への育成・支援に最善の努力を尽す財団法人起業家支援財団を設立するのは、神奈川県経済社会の発展を切に念願するからに外なりません。

何卒、本財団設立の趣旨をご理解いただき、ご参加、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年12月1日

財団法人 起業家支援財団

設立代表者 松井 利夫